※令和３年度以前入学生用

学校番号	2004

令和４年度　（専）家庭科

教科	専 家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	子どもの発達と保育（実教出版）						
副教材等	子どもの発達と保育 新訂版 学習ノート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子ども
の発達や特徴について理解し、子どもにとってよい環境について考える。 保育に関する知識と技術を習得し、将来子どもを育て 、 子育て支援 が できるようになる。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心を持ち､実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている 。	子どもに適切にかかわることができたり、子どもの健やかな発達を支援したりするために必要な技術を身に付けている。	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育等に関する 基礎的 ・基本的な 知識を身に付けている 。
評価方法	・ワークシート等の記述 ・副読本の記述 ・授業に向かう姿勢 ・レポートの作成や発表	・ワークシートの記述 ・副読本の記述 ・レポートの作成や発表 ・定期考査の結果	・実習の技能 ・レポートの作成や発表 ・ワークシート等の記述	・定期考査の結果 ・ワークシート等の記述 ・副読本の記述 ・レポートの作成や発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達の過程	○子どもの発育 ・胎児の発育・発達 ・乳幼児の身体的特徴 ・乳幼児の生理敵意特徴 ・発育の評価	○	○	○	○	ａ．人の発達について、自分自身の問題として考える姿勢をもっている。 ｂ．妊婦や子どもと触れ合ったり、実際の姿について観察したりすることができる。 ｃ．乳幼児期の生理的特徴が成人と大きく異なることを具体的に説明できる。 ｄ．生命誕生と母体環境の重要性について関心を持ち、自身の出生時の体重などと合わせて発育について必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 副読本 レポート 定期考査
	作品制作	壁面制作			○	○	ａ．子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 ｂ．子ども自身の表現活動を活発にするためには何が必要か、という見方ができる。 ｃ．季節・行事について理解し、その制作について必要な技術を身に付けている。 ｄ．児童文化，児童文化財の定義を理解している。	授業観察 実習レポート 製作物
	保育園・幼稚園実習	保育園･幼稚園の施設見学 子どもとのふれあいレポートの提出	○	○	○		ａ．園児や保育士・幼稚園教諭について関心を持っている。 ｂ．子どもと触れ合ったり、実際の姿について観察したりすることができる。 ｃ．子どもと適切にかかわることができ、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。	実習観察 実習レポート
		期末考査		○	○	○		定期考査

※令和３年度以前入学生用

2学期	子どもの生活	○生活と用語 ・生活と健康 ・栄養と食事 ・幼児食実習 ・食習慣の形成 ・衣生活と育児用品 ・おむつの実験	○	○		○	ａ．乳幼児の生活の特徴を理解し、食生活や遊びが発育や発達に及ぼす影響について関心を持っている。 ｂ．乳汁栄養から離乳食、幼児食へと発達に応じた食事の意味を考えることができる。 ｃ． 乳幼児に適した被服の材料・形態・衣生活の設計について理解し、選択することができる。 ｄ．乳幼児の健康について理解し、その健康を守ることについて理解している。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 副読本 実習レポート 実験レポート 観察等 定期考査
		○子どもの遊び ・生活と遊び ・遊びの援助 ・被服製作（子どものおもちゃ作り）	○	○	○			
		○健康管理と事故防止 ・日常の健康管理 ・病気の看病と予防 ・事故の防止と応急処置	○	○	○			
	子どもの保育	○家庭保育と集団保育 ・家庭保育 ・集団保育	○			○	ａ．幼稚園と保育園・認定こども園について学び、集団生活の意義に関心をもっている。 ｄ．家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を学び、子どもの成長・発達に両方が必要であることが理解できる。	
	子どもの福祉	○子育て支援 ・社会的支援の必要性 ・児童虐待とその予防 ・これからの子育て支援	○			○	ａ．子育て支援の課題と展望を考えることができる。 ｄ．児童を取り巻く環境の変化や子育て支援の現状を知り子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要があることを理解することがでる。	
		期末考査		○	○	○		定期考査
3学期	手作り絵本の製作	絵本の製作・発表・評価		○	○		ｂ．絵本について理解している。 ｃ． 絵本の製作に必要な技術を身に付けている。また、絵本の読み聞かせの技術が身についている。	授業観察 作品 発表 レポート
		期末考査		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。